



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月7日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,981	19.5	1,945	102.8	1,769	103.6	1,280	85.7
2018年3月期第2四半期	22,570	1.6	959	62.6	868	56.2	689	61.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,333百万円 (56.4%) 2018年3月期第2四半期 852百万円 (93.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	290.75	
2018年3月期第2四半期	139.63	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	62,681	17,125	27.3	3,884.34
2018年3月期	59,939	16,129	26.9	3,644.92

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 17,125百万円 2018年3月期 16,129百万円

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		8.00	8.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				120.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	7.6	3,250	30.1	3,000	27.5	2,200	25.9	499.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	5,192,619 株	2018年3月期	5,192,619 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	783,758 株	2018年3月期	788,495 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	4,405,678 株	2018年3月期2Q	4,940,016 株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、2018年6月22日開催の第109期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 2019年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 12円00銭
- 2019年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 49円94銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、FPD (Flat Panel Display) 業界については中小型パネル向け投資はスマートフォン用OLED (有機EL) 向けを中心に調整傾向となりましたが、大型パネル向け投資は中国を中心にテレビ向けの設備投資が概ね堅調に推移しました。

半導体業界については、データセンター向けサーバの需要増や半導体用途の拡大などを背景に設備投資が引き続き好調に推移しました。また、中国やOSAT (後工程受託メーカー) での設備投資も引き続き好調に推移しました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は28,819百万円 (前年同期比12.7%増)、売上高は26,981百万円 (前年同期比19.5%増) となり、受注、売上がともに増加となりました。

営業利益は1,945百万円 (前年同期比102.8%増)、経常利益は1,769百万円 (前年同期比103.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,280百万円 (前年同期比85.7%増) となり、大幅な増益となりました。

②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

(ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程では、大型パネル向け装置は概ね堅調に推移しましたが、中小型パネル向け装置が調整傾向となり、受注は前年同期に比べ減少しました。売上は、前年度好調に推移した受注の寄与などにより増加しました。

半導体前工程では、活発な設備投資が継続し、受注が大幅に増加し、売上が増加しました。

この結果、部門全体では受注、売上がともに増加し、売上高は14,399百万円 (前年同期比21.8%増) となりました。セグメント利益は増収などにより増加し、380百万円 (前年同期比49.9%増) となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程では、大型パネル向け装置、中小型パネル向け装置がともに受注、売上が堅調に推移しました。

半導体後工程では、スマートフォン部品向け装置や先端パッケージ向け装置を中心に受注、売上がともに大幅に増加しました。

真空応用装置では、電子部品関連、車載関連装置を中心に受注、売上が概ね堅調に推移しました。

この結果、部門全体では受注、売上がともに増加し、売上高は10,553百万円 (前年同期比21.6%増) となりました。セグメント利益は増収に加え、利益率の改善などにより大幅に増加し、1,480百万円 (前年同期比139.5%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,741百万円増加し62,681百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4,371百万円増加した一方で売掛金が1,731百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,745百万円増加し45,555百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,323百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ996百万円増加し17,125百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,280百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ4,371百万円増加し17,755百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は5,126百万円（前年同期は2,216百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少及び仕入債務の増加等により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は325百万円（前年同期は266百万円の減少）となりました。これは主に、固定資産の取得等により資金が減少したことによるものです。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、4,801百万円の増加（前年同期は1,950百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は365百万円（前年同期は220百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払い等により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月10日に公表いたしました業績予想を上回る見込みとなりましたので通期連結業績予想を修正いたします。

また、業績予想の修正に伴い、2019年3月期の期末配当予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2018年11月7日）公表いたしました「2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,399	17,770
受取手形及び売掛金	28,338	26,879
電子記録債権	640	421
商品及び製品	1,048	1,099
仕掛品	2,045	2,068
原材料及び貯蔵品	187	214
未収入金	1,476	1,151
その他	777	1,115
貸倒引当金	△367	△389
流動資産合計	47,547	50,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,611	28,798
減価償却累計額	△19,791	△19,942
建物及び構築物(純額)	8,820	8,855
機械装置及び運搬具	4,507	4,796
減価償却累計額	△3,555	△3,651
機械装置及び運搬具(純額)	952	1,145
工具、器具及び備品	812	845
減価償却累計額	△653	△682
工具、器具及び備品(純額)	159	162
土地	119	119
リース資産	366	307
減価償却累計額	△333	△285
リース資産(純額)	32	22
建設仮勘定	330	183
有形固定資産合計	10,414	10,489
無形固定資産		
特許権	320	316
その他	350	361
無形固定資産合計	671	678
投資その他の資産		
投資有価証券	124	134
長期前払費用	4	15
繰延税金資産	795	749
その他	382	283
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,306	1,181
固定資産合計	12,391	12,348
資産合計	59,939	62,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,999	16,323
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	500	2,500
リース債務	15	6
未払法人税等	578	537
未払費用	4,063	4,348
前受金	1,241	1,416
役員賞与引当金	44	14
受注損失引当金	5	—
その他	495	569
流動負債合計	27,044	30,816
固定負債		
長期借入金	6,000	4,000
リース債務	19	16
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,308	7,292
役員退職慰労引当金	13	12
修繕引当金	308	301
資産除去債務	35	36
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	16,766	14,739
負債合計	43,810	45,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	5,264	6,191
自己株式	△4,053	△4,037
株主資本合計	17,009	17,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	38
為替換算調整勘定	361	290
退職給付に係る調整累計額	△1,272	△1,156
その他の包括利益累計額合計	△880	△827
純資産合計	16,129	17,125
負債純資産合計	59,939	62,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	22,570	26,981
売上原価	16,515	19,462
売上総利益	6,055	7,519
販売費及び一般管理費	5,096	5,574
営業利益	959	1,945
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	0	1
為替差益	9	173
その他	20	39
営業外収益合計	32	215
営業外費用		
支払利息	65	65
デリバティブ評価損	26	289
その他	30	37
営業外費用合計	122	391
経常利益	868	1,769
税金等調整前四半期純利益	868	1,769
法人税、住民税及び事業税	154	445
法人税等調整額	24	42
法人税等合計	179	488
四半期純利益	689	1,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	689	1,280

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	689	1,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	7
為替換算調整勘定	10	△71
退職給付に係る調整額	150	116
その他の包括利益合計	162	52
四半期包括利益	852	1,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	852	1,333

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	868	1,769
減価償却費	631	736
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	97	22
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	151	100
受取利息及び受取配当金	△2	△3
支払利息	65	65
為替差損益 (△は益)	3	△15
前受金の増減額 (△は減少)	83	191
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,554	1,648
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△123	△445
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,278	1,687
その他	△23	△124
小計	2,476	5,632
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△65	△64
法人税等の支払額	△196	△444
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,216	5,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74	△316
有形固定資産の売却による収入	1	0
その他	△193	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22	△11
長期借入れによる収入	800	—
長期借入金の返済による支出	△800	—
配当金の支払額	△197	△354
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220	△365
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△64
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,729	4,371
現金及び現金同等物の期首残高	11,479	13,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,208	17,755

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,823	8,677	1,051	1,018	22,570
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	60	0	—	82
計	11,845	8,737	1,051	1,018	22,652
セグメント利益	253	618	50	277	1,199

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,199
全社費用(注)	△260
その他	△70
四半期連結損益計算書の経常利益	868

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	14,399	10,553	1,011	1,016	26,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	76	—	—	114
計	14,437	10,630	1,011	1,016	27,095
セグメント利益	380	1,480	4	295	2,160

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,160
全社費用(注)	△221
その他	△169
四半期連結損益計算書の経常利益	1,769

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。